

# 気兼ねなく暮らそう

N P O 日本初 盲ろう者のGH  
すまいる



ボウリング大会に参加した栗本さん（左端）。「GHの暮らしは快適」と言う

## 大阪市

視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろう者が暮らす障害者グループホーム「ミッキーハウス」写真①が3月1日、大阪市内にオープンした。運営するNPO法人視聴覚二重障害者福祉センターすまいる（門川紳一郎理事長）にとっては1999年の発足以来の悲願だ。石塚由美子事務局長は「盲ろう者に特化したGHは日本初と言われている」と話す。GHは5階建てで2階から4階に10人が入居できる。部屋はすべて個室で家賃は光熱水費、管理費込みで月6万5000円（一部7万5000円）。食事は別途実費が必要だが

希望すれば一日3食提供される。40〜60代の5人が入居した。「盲ろう者は親と一緒に住んでも思うようにコミュニケーションを取ることができませんが、同じ障害を持つ仲間となら気兼ねせず暮らせるのでは」と石塚さん。総工費1億4000万円を用意するため、盲ろう者が先頭に立つて募金活動を続けてきたという。



盲ろう者向けGHの会など生活を楽しむことができる職員を配置した。その一人、栗本養一（58）は「これまで出し文字を取り付けました。床には誘導ブロッックも設けた。盲ろう者に食事の準備もままならない時があります。GHでは栄養バランスを考えた食事が用意され、何より同じ盲ろう者の中には、日中は徒歩2分を通える同法人の就労継続B型事業所に通い、和太鼓やダンスのクラブ活動、年に1度のボウリング大会」（福田敏克）